

令和 6 年度第 3 回羽村市健康はむら 2 1 審議会 会議録	
日時	令和 6 年 11 月 26 日（火曜日）午後 7 時 30 分～午後 9 時 30 分
会場	羽村市保健センター 2 階 研修室
出席者	会長 石井博之、副会長 川口修、委員 松田直樹、宇野浩、須崎和英、青木博美、武元幸恵、郷佳代、宮本健司、柴田恵子、石黒武、式地亜矢
事務局	野村福祉健康部長、小山健康課長、山本保健センター係長、品田健康推進係長、釘本主任、清水主事
欠席者	委員 小島昌夫
議題	1 会長あいさつ 2 議事 （１）「健康はむら 2 1（第二次）」基本方針・体系図について 【資料 1】【資料 2】 （２）健康はむら 2 1（第三次）各論の取組について 【資料 3】 ①基本方針 1 健康的な生活習慣づくり・食育の推進 ②基本方針 2 生活習慣病の発症や重症化の予防 ③基本方針 3 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり ④基本方針 4 健康を支える社会環境の整備 （３）その他 3 その他
傍聴者	なし
配布資料	資料 1 第 1 章 計画の策定にあたって（案） 資料 2 第 4 章 施策の体系（案） 資料 3 健康はむら 2 1（第三次）各論の取組（案）
会議の内容	1 会長あいさつ 早いもので 3 回目の審議会になる。意見をいただく最後のチャンスとなるので、忌憚なき意見をお願いしたい。 2 議事 （１）「健康はむら 2 1（第三次）」基本方針・体系図について ＜【資料 1】「第 1 章 計画の策定にあたって（案）」、【資料 2】「第 4 章 施策の体系（案）」より、事務局から説明＞ （議長）今の説明について質問はあるか。 （委員）施策 7「歯の健康を保つ」は「口腔内の健康を保つ」のが良いかと思う。

(事務局) 変更をする。

(委員) 資料 1 の 4 ページの東京都の概念図を見ると、「主な生活習慣病の発症予防と重症化予防」ががん、糖尿病、循環器病、COPD となっているが、羽村市の計画ではがんと糖尿病・高血圧と変えているのはなぜか。

(事務局) COPD については施策 8 「喫煙率を減らす」に含めた。循環器病を高血圧に変更したのは、健康課題として高血圧が挙げられることと、市民にとってわかりやすい表現にしたこと、また、データヘルス計画でも高血圧について示しているので、糖尿病と高血圧、とした。

(委員) 今は高齢化が進んで、循環器の領域では「心不全パンデミック」(高齢心不全の患者が大幅に増加すること) で病棟が足りなくなる可能性があり、地域や社会での取組が重点化されている。もちろん高血圧が循環器病の入口にはなるが、高血圧＝循環器病ではないので、心臓病でもいいけど、何か他の言葉があればいいと思う。

(事務局) 事務局でも循環器病とするか高血圧にするか非常に悩んだ部分ではあるので、もう一度検討する。

(委員) 「食育体験」という言葉がピンと来ない。どういうことを指すのか。

(事務局) イメージしていたものは、稲作体験や調理実習、工場見学なども含めて、体験を通じて食について学ぶということ。

(議長) カッコ書きか何かで具体例を挙げられると良い。

(委員) 最近子ども達の稲作体験も以前のように行われていない。給食センターのホームページに、給食にどんな食材が使われているか出ているが、野菜はほぼ羽村産。これはすごいことで、大きなポイントだと思う。他にないアドバンテージをいかに活用していくか。食は一番大事だと思う。

(委員) 私も一般市民として「食育体験」がどういうものかわからなかった。

(委員) 私は栄養士なので大体わかっていた。

(議長) 説明を聞けばわかるが、聞かないとわからない。提示できると良い。

(2) 健康はむら 2 1 (第三次) 各論の取組について

①基本方針 1 健康的な生活習慣づくり・食育の推進

<【資料 3】「健康はむら 2 1 (第三次) 各論の取組 (案)」により、事務局から説明>

(議長) 今の説明について質問はあるか。

(委員) 18 ページの農ウォークは、明日開催予定だったが雨のため中止となった。

(委員) 農ウォークとは、どんなことをする予定だったのか。

(委員) 畑を回って大根やネギを掘る、というもの。

(委員) 先日地元の大根を食べたが、本当においしかった。「農餃」(市内で収穫した野菜を使った冷凍餃子の販売) のような取組も良い。食育に関しては「個食」(家族で別々のものを食べる。この発言では「一人食べる」こと。) に対しての取組はないのか。

(事務局) 食育の推進については様々な取組をしているが、共働きの方が多く、お子さんも学校や部活で忙しいので、「孤食」(「個食」) が増えているのは大きな問題だと認識している。「一緒に食べる」(「共食」) ということについて、ご家庭だけでなく、学校やイベント等で友達と一緒に食べるなど、そういう部分を大事に取り組んでいきたい。

(委員) 4 ページを見ると、特に男性は日ごろから身体を動かすことに対して意識が高いとなっているが、1 ページを見ると男性の肥満が多いとなっている。疑問に感じる。

(委員) 食事かアルコールかどちらかにすればいいのに、どちらも摂っているからでは。

(委員) BMI の値だけで「痩せ」「肥満」と分類してしまっているのか。

(議長) 確かに、身長と体重の数値だけで決めてしまって良いのかという部分ではある。BMI だけでなく、うまく端的に追記できると良い。

(委員) BMI は確かに問題もあるが、それに代わる簡単に測れる指標がない。体脂肪でもメーカーによって数値に差がある。BMI では、例えば同じ体重でも高齢になり身長が小さくなると BMI で「肥満」となったりする。問題はあるが、一番「肥満」「痩せ」を表す指標として仕方がないと世界中で使われている。

(議長) リスキーではあるが、そのような問題があることを知りながらも使うということ。

(委員) 22 が「標準」で 25 以上が「肥満」というのは以前から変わっていないのか。

(委員) 変わっていない。

(事務局) プラスで表現できるものがあれば次回説明したい。

(委員) 全体的に、目標が「増やす」「減らす」となっているが、12 ページや 18 ページは「維持」とある。何をもってそのようにしているのか、わからなくなる。

(事務局) 95%以上の数字は「一番上に近い」ということで、例えば 12 ページの「1 日 3 食食べる人の割合」は 98.8%なので「維持」としている。18 ページの地場産野菜については、農家の数が減っているという状況を踏まえて「維持」とした。それ以外は「増やす」「減らす」という表記とした。

(委員) 10 ページの「からだ気配りメニュー店」については知らなかったので調べた。マークがあるようなので、載せられたら良い。

(事務局) 東京都の制度で、野菜が 120 グラム以上入っているメニューを提供しているなど基準があり、保健所に申請をして認められると登録証のシールが掲示できるというもの。10 月末くらいから基準のパターンが増え、「からだ気配りメニュー店」という新たに設けられた制度になった。登録証のイラストを掲載するなど、レイアウトは考える。

(委員) 一人暮らしの高齢者の「こころの健康を保つ」ことは大事。また、コロナ禍の影響か、対人関係をうまく築けない子どもが多いと感じる。こころの健康に対するケアをどのようにしていくか。

(議長) 前回にも出た話だが、取組として「情報提供」とあるものは、どのような手段で行うのか。

(事務局) 内容によるが、広報はむらに月 1 回健康コラムを掲載したり、健康づくり推進員の方に「健康づくり推進員だより」を配布していただいたり、市公式サイトや様々な事業で普及啓発をしたりしている。基本的には紙面だが、一言添えるなどして相手に響きやすい普及啓発ができればと思っている。

②基本方針 2 生活習慣病の発症や重症化の予防

<【資料 3】「健康はむら 2 1 (第三次) 各論の取組 (案)」により、事務局から説明>

(議長) 今の説明について質問はあるか。

(委員) 37 ページ、大腸がん検診について、受診率は他のがん検診よりも高いが、精密検査を受ける人は少ない。これは、大腸がん検診は特定健康診査のついでに受けられ、受診者のモチベーションが比較的低いから。他のがん検診は日程を決めて市に申込をしなくてはならないから、垣根が高い。他市と乗入し、どの医療機関でも受けられるようにすれば、受診率は上がる。

(事務局) 胃がん肺がん検診は保健センターでの集団検診であり、2 か月前に申込をしなくてはならない。都内の (自治体検診の) 受診率が胃がん検診 12.3%、肺がん検診 11.9%であるので、羽村市は受診率が低い。医療資源が限られている中で、乗入をすべきという声は上がっている。

③基本方針 3 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

<【資料 3】「健康はむら 2 1 (第三次) 各論の取組 (案)」により、事務局から説明>

(議長) 今の説明について質問はあるか。

(委員) 49 ページの「ストレスが大いにある人のうち、相談経験がある人の割合」は「減らす」とあるが、「増やす」ではないか。

(事務局) 「増やす」の誤りであるので、修正する。

(委員) 53 ページの「友愛訪問員」とはどのようなものか。

(事務局) 民生委員・児童委員に高齢者実態調査をしていただいている、結果、高齢者の一人暮らし世帯等に定期的に訪問していただき、話し相手になっていただいたりしている。地域ごとに選出していただいている。

④基本方針4 健康を支える社会環境の整備

<【資料3】「健康はむら21（第三次）各論の取組（案）」により、事務局から説明>

(議長) 今の説明について質問はあるか。

(委員) 町内会の加入率が低いところだと20%くらい。会員が全く増えない。また、町内会、青少対などいろいろな行事で子どもの取り合いが起きている。子育てに関してはどこかがイニシアチブをとり、行政が抜本的な対策を取るべき。

(委員) 私が住んでいる所は山間の集落なので、ほとんどの世帯が自治会に入っており、とても良くしていただいた。加入していて良かったと感じている。

(委員) 町内会に加入しない理由を聞くと「メリットがないから」だと言う。役員やイベントの準備など、負担感が強い。

(委員) 回覧板を回しても、生活が多様化しているので、回収までに時間がかかる。

(委員) 私のいた集落はほとんどが顔なじみであったが、今は外からの方も多いのか。

(委員) 流動しているので外からの方もいるが、外からだとか地元だから

とかはもう関係ない。地域とのつながりということにどれだけの価値観を持っているかという問題。お祭りなど楽しむことは好きだが、準備は面倒だという…。

（委員）北陸の被災地支援に今週も行くが、やっぱり人とのつながりが過酷な生活を支えてきたのだと強く感じる。自分も、自治会で多少面倒なことがあっても、ちゃんとつながっていこうと思う。今の話を聞き、みんながうまい形でつながれる方法が考えられたらいいと思った。

（委員）仕事や家事や子育てに忙しい方はたくさんいるが、私の周りでは介護で忙しい友達が多い。介護からこころの病になることが多い。

（議長）IT 技術で地域に合わせた適切な情報発信ができると良い。

（事務局）健康はむら 21 は若い世代にシフトしているところはあったが、介護者の健康という視点も必要と感じたので、検討したい。

（議長）今のような発言は、何が本当に問題として起こっているか情報共有でき、とても良かった。

（委員）こころの健康の部分が他に比べて漠然としていると感じる。精神疾患を抱える方と関わる仕事をしているが、メンタルが安定しないと、例えば体重を適正に保つ、ということもできない。こころの健康がすべての下敷きのように体系図にあると自分の中ではしっくりくる。

（議長）確かにそこを考えながらまとめるといいものができると思う。

（委員）乳幼児の健診をしていると、母親の育児ノイローゼが増えていると感じる。話を聞いてくれる人がいないようだ。

（委員）学生から睡眠の相談を受けることが多い。計画に睡眠のことが載っているのは良い。

（委員）私も健診に関わっているが、赤ちゃんの相談はするけど自分（母親）の相談はなかなかしない。健診の機会に母親のケアにも積極的に関わっていけるといい。

（議長）委員のみなさまには長時間にわたりご審議いただき感謝申し上げます。次回の審議会が最終となり、計画案を確認していただくことになる。後ほど事務局から説明があるが、書面での意見もお願いできればと思う。いろいろな分野からいろいろなご意見をいただき、とても実りのあるものになったし、結果としていい形に残るのではないかと思う。これですべての議事を終了とする。事務局に司会進行を返す。

4 その他

<次第により、次回の審議会日程、書面意見について事務局から説明>

（事務局）以上で第3回の審議会を終了とする。長時間にわたる審議に感謝申し上げます。